

# 情報活用型授業デザインシート Ver. 4.0

## ■基本情報

学年 教科	第2学年 保健体育	単元 教材名	交通事故の現状と原因	場面	収集・編集・発信
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の交通事故の特徴を知る。</li> <li>・交通事故の原因を理解する。</li> </ul>				

## ■コア・アクティビティ

エ. 取り扱う情報（手段、内容を具体的に）	オ. 情報の扱い方の指導（視点・観点、留意点）
1. 生徒の事前アンケートの結果（ヒヤリ体験等） 2. 最近の交通事故についての情報 3. 学区内の写真（下校時の状況等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書等の資料から自分自身の行動を振り返らせる。</li> <li>・最近の事故や学区内の写真から日常生活の中で危険が身近にあることに気付かせる。</li> <li>・事例の中で、3つの要因にあたる部分に線を引かせ話し合いをさせる。</li> </ul>

## ■学習課題 (イ)

めざせ！交通事故調査員！！

カ. 学習活動（カ-1～カ-3を参考に時系列で）	キ. 情報活用を深める・高め合う（場、手立て）
1. 中学生の交通事故の現状について学ぶ。 2. 交通事故の3つの要因を学ぶ。 3. グループで事例を分析し表にまとめる。 4. 各自、交通事故防止宣言に記入し周囲に考えを発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例から、要因になった部分に線を引き理解を深める。</li> <li>・事例を振り返り、日常生活の中で自分にできる防止対策について要因を踏まえながら考えるように声掛けをする。</li> </ul>

## ■学習成果イメージ（ワークシート・作品等）

## ■授業の入口と出口

ワークシート				導入 ア・ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートの結果を共有し、本時の学習についての関心を高める。 （「イ. 学習課題」以外）</li> </ul>
	人的要因	環境要因	( ) 要因		
事故A				(コア・アクティビティへ)	
事故B					
事故C					
				まとめ ク・ケ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の生活の中で自分にできる交通事故防止について記入し、日常生活の中で課題意識を持つ。</li> </ul>

## ■学習成果に対する評価（ルーブリック）

観点	S（意志ある洗練）	A（学習目標に到達）	B（活動は成立）	C（不十分な活動）
内容	事故の要因を理解し自分の行動を振り返りながら具体的に意見を言うことができる	事故の要因を理解し的確に意見を言うことができる	事故の要因をおおむね理解し考えを言うことができる	事故の要因を理解することができず意見が言えない
表現	分析結果をもとに自分のこれまでの交通マナーを振り返り、具体的な安全宣言をしている	分析結果をもとに安全宣言をしている。	分析結果の内容と安全宣言の結びつきが不十分	安全宣言を書いているが根拠が無い、又は、漠然としている